

# 令和2年度

## 金沢版総合戦略推進事業実績報告

金沢市では、新型コロナの影響で事業やイベントの開催等が制限される中、十分な感染防止対策を講じた上で以下の事業をはじめ、幅広く地方創生につながる事業を実施しました。

### ①若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合う まちをつくります

妊娠から出産・育児までの期間を安心して過ごすことができる環境づくりを推進するため、ワンストップ拠点において、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談・支援を実施したほか、身近に援助者がいない家庭にヘルパーを派遣し、産前・産後の妊産婦の家事や育児の負担を軽減するなど、子供達の健全育成に繋がる事業を実施しました。



## ②金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、 集うまちをつくります

9月と2月に文化の未来を担う人材育成を目的とし、小中学生を対象に多様な分野の芸術・文化を気軽に体験できるフェスタを開催しました。親子参加を含め、延べ600人が参加し、加賀宝生や日本舞踊などを体験し、文化に興味を持つきっかけ作りとなりました。



また、交流人口の拡大やスポーツ振興、オリンピック・パラリンピックに向けた気運の醸成を目的にパラスポーツを体験することができるイベントを開催しました。延べ400人が参加し、車いすバスケットボールやボッチャをはじめ、4種目の競技を体験しました。



### ③イノベーションにより産業と雇用が創出される まちをつくります

将来を担う人材育成のため、市内在住の子供達を対象にプログラミング教育や学びの機会を提供する「みらいクリエイター養成塾」を開催しました。



プログラミング教室を行うだけではなく、加賀友禅の技法や金沢の伝統的なデザインを学ぶ機会を取り入れ、幅広いアイデアを生み出す基礎を育みました。

約40名の子供たちが6月から2月までの間、プログラミングやデザインの技術を習得し、3月には集大成となるアイデアコンテストで成果発表を行いました。



#### ④ 周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすい まちをつくります

本市と石川中央都市圏を構成する3市2町（白山市、野々市市、かほく市、津幡町、内灘町）や交通事業者と連携し、広域的公共交通網の整備に向けて協議会を設置したほか、中心市街地の渋滞緩和のため、通勤時パークアンドライド（Kパーク）の運営及び利用促進を行いました。



また、石川中央都市圏で構成する協議会で検討を重ねた結果、令和3年6月から給水装置工事等の施工事業者指定事務を本市で一元的に行うこととし、事務の効率化及び工事業者の負担軽減を図ります。

